

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

平成27年度ユネスコスクール活動報告書

1 本校が取り組むユネスコスクールプロジェクトについて

地域貢献活動…テーマ「We Love ふじおか」

地域で生まれ、地域で育ちながら、地域との結びつきが希薄な現状を打破し、「ふじおか」を愛し、「ふじおか」の若者として、使命感ある生活を実践する契機とする活動を行う。こうした理念の下、本年度は2学年においてチャレンジウィークという職場体験活動の一環として「北中ちいき隊」といったグループを組織し、独居老人の家でお世話する活動や、地域の清掃活動といった地域からの依頼に生徒が応える活動を行った。

2 チャレンジウィークについて

(1) テーマ 「Jump Up! 可能性への挑戦」

— 体に汗、頭に汗、そして心に汗 —

(2) 理念

チャレンジウィークの前身である「職場体験学習（初回；平成2年3月実施）」を全国に先駆けて実施したパイオニア校としての誇りを生徒たちに持たせ、5日間30時間の体験を終えたときに、「新たな自分の可能性」、「新たな将来の夢」、「今まで知らなかった自分」を発見できることを実感させる。活動を通して多くの人とふれあい、新たな価値観、仕事の厳しさを知ること、今の自分を見つめ直す機会を与えるだけでなく、地域「ふじおか」の良さを知り、自分にも地域に貢献できることがある、ということを感じさせる機会とする。

(3) ねらい

- 自己の将来や社会の未来をみつめ、より良い生き方を探る機会とする。
- 各事業所での体験を通して、勤労の尊さや働くことの意義、地域社会で活動していくことの大切さを学び、生き甲斐のある生活を実現していこうとする意欲を育てる。
- 地域社会での体験を通して、将来自分たちが担っていく社会の未来について考えさせ、地域に生きる若者として、夢を持って、地域社会をよりよくしていこうとする態度を育てる。

(4) 活動内容

①職場体験学習・・・「I LOVE 自分」

「本気で取り組み、己を知る」ことを実現するために、本事業の目的（職業観・人間観・社会性等の育成）を達成できるよう、特に事前事後の指導の徹底を図っていく。また、充実した体験活動を実現することのできる事業所を選定していく。以上のような万全の環境整備をした上で、生徒には目的遂行のために真摯に臨ませていきたい。

②地域貢献活動・・・「WE LOVE ふじおか」

地域で生まれ、地域で育ちながら、地域との結びつきが希薄な現状を打破し、「ふじおか」を愛し、「ふじおか」の若者として使命感のある生活を実践

する契機としたいと考え「北中ちいき隊」として、次の3つの活動を行うこととした。

① 地域在住の独居高齢者との交流

地域に住む独居高齢者のお宅に訪問し、庭の手入れ、草むしり、対話など、中学生ができる地域貢献を実践することにより、高齢者福祉を考えたり、社会人としての資質を養ったりする機会とする。

② 学校・地域の清掃活動

学校や地域道路の清掃活動を通して、地域愛や社会参画意識を高めていく機会とする。

③ 小学生下校時支援活動「見守り隊」

小学生の下校支援活動を通して、年少者への思いやりの心を高めさせる機会とする。

(5) 参加人数 (3日目は荒天のため中止)

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
職場体験学習 (人)	179	185		182	192
地域貢献活動 (人)	13	9		8	0

(6) 地域貢献活動「ちいき隊」の活動の様子

- 独居高齢者住宅訪問（区長さん、民生委員さんに作業を必要とするお宅を紹介して頂いた。）



- 学校・地域清掃

学校内整備作業（台風のため）、団地内清掃活動、校区内路上清掃活動

- 小学校児童下校支援（校区内2小学校の通学路のうち危険と思われる4カ所）

3 事前・事後の主な指導

事前の活動

- 職業人に話を聞く会
- マナーアップ講習会（ヨシモトポール・NTTに講師を依頼）
- 事業所等事前訪問

事後の活動

- 協力していただいた事業所への「お礼の手紙」
- 体験文集「JUMP UP 可能性への挑戦！」の作成
- 体験報告会（1年生を対象に）
- 事業所お礼の訪問（体験文集を届けに）

4 成果と今後の課題

(1) 成果・・・真剣に取り組んだからこそ“わかる”ことがある。

- ちいき隊の活動は、生徒が真剣にそうじに取り組んだり、コミュニケーションを取ったりしたことで、多くの方に喜んでもらうことができた。また、民生委員の方にも中学生の活動を伝えることができ、理解をしてもらうことができた。さらに、住んでいる地域の外まで歩いて回ることで、藤岡について改めて知ることができた。
- あいさつ、返事といった普段の学校生活で大切なことは、社会に出てもとても大切なことであるということが実感できた。
- ちいき隊の活動は、生徒のやりがいに通じた。そして、このことは自己有用感を高めることにもつながった。

<草むしりをさせて頂いた家の方から、頂いた手紙>

勉強にスポーツに読書にと、一番よい季節となりましたが、皆さんはいかがお過ごしですか？

先日は草むしりというなれない仕事をしていただきありがとうございました。私、一人暮らしの上、体が悪く、よく転んでは骨折をします。草も気になってはいたのですが、今年も北中の皆さんのお世話になり、きれいにしていただき、大変に助かっております。また、その上にお手紙まで書いてもらい、体まで気づかっただき、大変うれしく、胸の熱くなる思いです。

手紙の中では、草むしりというなれない作業、大変な仕事の中で協力心、作業が苦しさから楽しさへ変わったこと、作業と掃除とのつながり、さらに学校生活へとつながったこと、草むしりの体験をして、一生懸命やればきれいになっていく、結果が出ることを知って人間成長という体験学習をされたと書かれてありましたが、素晴らしい北中生徒さんの一生懸命取り組む姿に感動しました。そして、きれいになった所を見て感謝、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。また、皆さんからいただいたお手紙は大切に私の宝物にします。皆さんも先生の言うことをよく聞いて、勉強にスポーツに頑張ってください。そして、楽しい中学校生活を送ってください。

<ちいき隊の活動を通して学んだこと> (生徒感想文より)

- 自分はちいき隊という素晴らしい活動をして、人と人が支え合うというのは生きていく上ですごく大切だということを感じました。そして、一人ひとり困った時はお互い様という心をもっていけば、良い関係というか、支え合うきれいな心が育っていくことを感じました。
- 自分は、この見守り隊を通して自分も今まで見守られながら過ごしていたのかという、感謝の気持ちを感じることができました。この感謝の気持ちをこれからの自分に生かしていけるように、人を見守って見守られながら生きていきたいです。
- ちいき隊から学んだことは、ボランティアをしたあとは気分がよいということです。

(2) 課題・・・さらなる発展を目指すために。

- 受け入れ先に、北中ちいき隊の趣旨をよりしっかりと伝え、積極的に受け入れていただけるようにする。無理にお願いしなくてはならないような場合は、中学校側にとってはよい体験ができず、迷惑がかかるだけでプラスにならない。
- 地域貢献活動をさらに充実、拡大させるためには、関係諸機関との連携を強化する必要がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）